

「道灌公を大河主役に」

読(*)
1/7

越生町と川越市 H Pで署名呼びかけ

江戸城の築城で知られる文武両道の武將・太田道灌(1432〜86年)を主人公にしたNHK大河ドラマを実現させようと、越生町と川越市が署名の呼びかけなどに力を入れている。ゆかりの地とされる越生の「山吹の里」や、築城した河越城跡などがあり、2市町はドラマ化による観光振興を狙う。

道灌は関東に勢力を持った扇谷上杉家の家臣で、軍略や和歌、築城に優れていたとされる。生誕の地は越生の館「山枝庵」とされ、

県指定旧跡の「伝山吹の里」

けた。

契機になった故事の舞台とされる。河越城のほか、岩槻城(さいたま市)も手が

ドラマ化を目指す取り組みは、2014年に本格化した。道灌殺害の地で観光行事「道灌まつり」を毎年開く神奈川県伊勢原市や、子孫や道灌ファンでつくる

全国組織「太田道灌公墓前祭実行委員会」などが「太田道灌を大河ドラマに！推進実行委員会」を結成した。

同委は署名の呼びかけやNHKに請願書を送るなどの活動を展開し、昨年春には約15万件の署名を集めた

が、20年放送の大河ドラマは明智光秀に決まった。同

委は21年の放送を目指し、さらに署名集めをすることにした。

越生町は「町内には道灌の父・道真の退隠地など、関係する史跡が多い。ドラマ化が実現すれば、町の知名度を上げる絶好の好機となる」(産業観光課)と期待し、実現を目指す関係自治体で組織をつくらうと呼びかけている。

川越市も「川越発展の礎は道真、道灌親子が築城した河越城と言える。市役所前には道灌像があり、つながりは深い。関係自治体の組織設立の際には協力したい」(産業観光部)と意気込んでいます。



川越市役所前に立つ太田道灌像。道灌は河越城を築城した